



『天城学習発表会』

12月9日（土）、本年度のこれまでの「天城学習」（総合的な学習の時間）の活動を総括した発表会を行いました。天城学習は、『自分たちの住む地域を舞台に、自分と地域とのかかわりの中で、地域のもつ魅力・問題点を体験的な探究活動を通して見つけ、自然と人との共生など様々な課題を総合的に追究する方法を身につけ、仲間と協力して問題を解決するとともに、地域の持続発展について関心をもつことで、地域を愛する心を育てる』ことを目標に3年間積み上げていく学習です。発表会では、3年間の学びの姿が伝わるように次のように構成しました。

1年生は、

- ・ 地域の福祉施設での体験を通し、思いやりの心を育て、よりよい生き方や共生の意味を考える
- ・ 天城山（八丁池）へのハイキングやジオサイトの見学を経験することにより、地域の自然のすばらしさに気づき、地域を愛する心を育む



2年生は、

- ・ 天城山のすばらしさだけでなく、抱える問題についても理解を深め、地域の自然を持続するための方法を考える
- ・ ジオの視点から地域の防災を見直し、地域の防災について中学生が担う役割を、体験学習をとおして考える
- ・ 地域を支える仕事や産業について考え、地域が現在の経済を維持し、持続可能な発展をするためには何が必要かを、体験学習をもとに考える

3年生は、

- ・ 観光地である奈良・京都への修学旅行をとおして、観光地である自分たち地域の課題を知り、その解決策を地域の事業所や機関に出向いて調査し、市長に提言する
- 発表会当日の午前は、

1 開会式 2 1年生の発表 3 2年生の発表

午後からは、

4 3年生の発表 5 生徒会からの発表『つげ峠の鹿柵』

6 梅澤 収 静岡大学教授による講評 7 閉会式(土屋 優行 静岡県副知事のご挨拶)

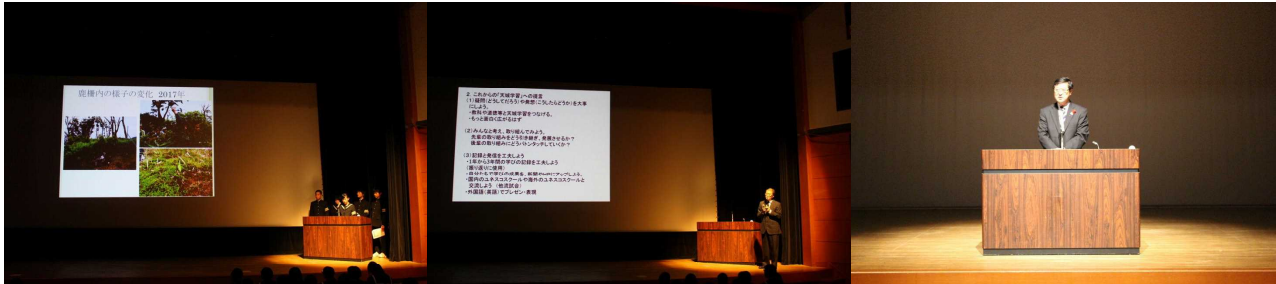
という流れで、それぞれが一生懸命に準備した発表や提言を行うことができました。



また、玄関ホールで行った展示も充実した内容で、ご来場の皆様

から高い評価をいただきました。（現在は、天城中学校2階南北通路に再展示してあります。見逃した方は、御来校の際にぜひご覧ください。）

今年の天城学習発表会には、1年生保護者17人、2年生保護者25人、3年生保護者23人、天城学習でお世話になった皆様10人、市内からの来賓20人、県外・市外からの来賓8人と、たくさんの方々にご来場いただきました。たくさんの方々の感想やご意見をいただいたことにも感謝しています。特に、梅澤収静岡大学教授による講評では、「天城学習をどう発展させて発信するか」ということで、天城学習の今後の方向性を考えるうえでのご示唆をいただきました。また、土屋優行静岡県副知事からは、「様々な課題への取組はもちろん、つげ峠の鹿柵調査を長年続けたことの価値はたいへん大きい。これからは、若者の行動力がますます大切になってくる。」とのお言葉をいただきました。



[つげ峠の鹿柵調査]

[梅澤教授による講評]

[土屋副知事のご挨拶]

以下、参観者の感想を二つ紹介いたします。(それぞれ一部省略してあります。)

『2年生は前年の経験があり、落ち着いて発表していました。特に防災学習は、この子どもたちがこれから先、災害にあったときに絶対に何らかの形で役に立てることができると思いました。話を聞くだけでなく、体験したことは覚えていると思います。職場体験では働く大変さというものを感じ、身近な家族への感謝はもとより、どんな仕事に対しても感謝の思いを寄せると思いました。勉強以外にも地元のことを“学習する”、“まとめる”、それを互いに学ぶ展示物づくりは、大変だったと思いますが、価値あるものになっていました。天城学習は、誰かがまとめてやってくれる発表でなく、一人一人ですっきりと課題を挙げ、実践し、まとめ、次へつなげようとする、まさしく持続可能な学習だと思えました。午後の部では、生徒会より鹿柵の成果、6年続く活動に天城の森の保全への意識を持ちました。』(2年生保護者)

『全員が舞台上で堂々と発表し、自信となって表れていました。学年が上がるにつれて、現状把握、課題の認知、提言と一連の流れとなっていることも、深まりが見られてとても良かったです。特に3年生の発表がすばらしく、幅広いテーマ設定は、生徒の関心に基づいていることがうかがえ、主体的に調査し、地域の課題を自分事として考え提言している姿勢を頼もしく思いました。資料の提示や発表の仕方のプレゼンテーションにも工夫が感じられました。上級生の発表を見ることが下級生のモデルとなり、今後の自分の活動への意欲付けや見通しを持てる良い機会となっていると思います。展示物には発表を補足する資料が豊富にあり、生徒がテーマ設定をする前に多くの講座や体験が意図的に仕組まれていることがうかがえました。学校評価の生徒アンケートでは、地域に関心を持っていたり、社会の課題について考えたりする生徒の割合は低い学校が多いと思いますが、天城学習を行った生徒の皆さんは、きっと高い比率だと思います。地域への提言はぜひ、保護者以外の地域の方々にも伝えて、自分たちが地域の未来を変えられるという体験をしてもらいたいと思いました。まさにESDであり、未来を担う人づくりだと思います。』(来賓)

【今後、天城中学校HPに当日の動画をアップしますので、ぜひご覧ください。】